

名古屋市立大学 大学院 医学研究科 修士課程

診療看護師コース概要

目次

1. 名古屋市立大学について
2. 医学研究科修士課程診療看護師コースについて
3. 入試について
4. 就学支援について

名古屋市立大学について

名古屋市立大学の基本的な理念

名古屋市立大学は、知の創造と継承により真理を探究するとともに、それに基づく教育を通じて、**社会の発展に貢献する人材**を育成する。あわせて、広く市民、行政などと連携、協働して**知の拠点として魅力ある地域社会づくり**に貢献するとともに、教育・研究の成果を地域及び国際社会に還元し、**全ての市民が誇りに思う愛着の持てる大学**として活動する。

(公立大学法人名古屋市立大学第四期中期目標 前文から抜粋)

名古屋市立大学 学士課程

医学部

薬学部

経済学部

人文社会
学部

芸術
工学部

看護学部

総合生命
理学部

データサイ
エンス学部

名古屋市立大学大学院（修士・博士課程）

医学
研究科

薬学
研究科

経済学
研究科

人間文化
研究科

芸術工学
研究科

看護学
研究科

理学
研究科

データサイエンス
研究科（予定）

学部学生：約4100名 大学院生：800名余 教員800名弱 職員3400名余

名古屋市立大学 5キャンパス+葵校舎



桜山
(川澄)
キャンパス
SAKURAYAMA
(KAWASUMI)
CAMPUS



滝子
(山の畑)
キャンパス
TAKIKO
(YAMANOHATA)
CAMPUS



(予定)名東
キャンパス



葵校舎

研究科 ■看護学部/看護学研究科



田辺通
キャンパス
TANABEDORI
CAMPUS



研究科 ■人文社会学部/人間文化研究科
/システム自然科学研究科



北千種
キャンパス
KITACHIKUSA
CAMPUS

リハビリテーション学専攻



名古屋市立大学
NAGOYA CITY UNIVERSITY
大学院 薬学研究科
薬学部

■薬学部/薬学研究科



■芸術工学部/芸術工学研究科

名古屋市立大学医学部附属病院群

名古屋市立
大学病院

東部医療
センター

西部医療
センター

みどり市民
病院

みらい光生
病院

(予定)
リハビリセンター
附属病院

医学研究科修士課程 診療看護師コースについて

特徴

- ✓ 医学研究科に設置
- ✓ 「熟練した看護実践能力」「看護管理能力」といった看護学教育に加え、「包括的な健康アセスメント能力」「医療的処置マネジメント」「病態の理解」といった医学分野における教育・研究を強化
- ✓ 医学研究科・看護学研究科・5つの附属病院が一体となって、より質の高い診療看護師を養成

概要

領域	クリティカルケア領域
修学年数	2年（昼間コース）
定員	10名
特定行為	21区分38行為の全て（選択含む）

アドミッションポリシー

- ✓ 医療人として高い倫理観と安全で確実な技術を備え、患者・家族、多職種からの信頼の厚い看護師
- ✓ 関心のある領域の課題やニーズを抽出し、Evidence-Based-Medicineや研究方法を用いた検証と応用により、高度実践看護の専門性の追求と看護実践の質向上に貢献する人材
- ✓ 診療看護師としての役割モデル、リーダーシップを発揮し、高度実践看護の社会実装に貢献する人材

求める学生像

- ✓ 看護職としての高い資質と倫理観を持ち、患者・家族の立場での思考ができる人
- ✓ 看護実践の科学的な根拠を探求し、自己研鑽し続ける意志をもつ人
- ✓ 協調性と自律性をもち、チーム医療において多職種と協働できるコミュニケーション能力を持つ人
- ✓ 文化や価値観などの多様性を理解する人
- ✓ 診療看護師（NP）として、クリティカルケア領域における看護の発展を目指す志を持つ人
- ✓ 大学院での学修の成果を医療現場に還元し、医療の質向上に貢献できる人

医学研究科修士課程診療看護師コース カリキュラムツリー

2年

4月～10月

診療看護実習Ⅰ
診療看護実習Ⅱ
診療看護実習Ⅲ
診療看護実習Ⅳ

【課題研究成果物】

公開審査会

中間発表会

1年

後期

周麻酔期看護学演習Ⅰ
周麻酔期看護学演習Ⅱ

診療看護演習Ⅰ
診療看護演習Ⅱ
診療看護演習Ⅲ
診療看護演習Ⅳ
診療看護演習Ⅴ
診療看護演習Ⅵ

課題研究

研究計画書提出

前期
後期

フィジカルアセスメント
病態生理学
臨床薬理学
理論看護学
看護学研究方法論
看護教育論
看護倫理学
コンサルテーション論
クリティカルケア看護学特論
周手術期看護学特論
周手術期看護学演習
周麻酔期看護学特論Ⅰ
周麻酔期看護学特論Ⅱ

診療看護師特論
生理系医学基礎
臨床医学概論
最新医学特論Ⅰ
最新医学特論Ⅱ
減災・医療概論
減災・医療特論Ⅰ
減災・医療特論Ⅱ
フィジカルイグザミネーション
臨床推論
医療安全学/特定行為実践

太字: 必須
細字: 選択

研究テーマ提出

医学研究科科目

看護学研究科科目

1週間のスケジュール

前期4月～8月
(後期夜間講義を含む)

	月	火	水	木	金
1限	○4・6月		○4・5月	●	●7・8月
2限	○	○	○選択	○	●
昼休憩 (12:10~13:00)					
3限	○	○	●	○	●
4限	○	○	●		●
夜間講義時間 医学研究科 (夜⇒18:30~20:00) 看護学研究科(5限⇒16:15~17:45 6限⇒17:50~19:20 7限⇒19:30~21:00)					
5限	○			○	○(後期選択)
6限			○(後期選択)	○	
夜	●(後期選択)	●(前期選択・後期必須)			●(前後期選択)
7限			○(後期選択)		

- ★ 月～金の授業
- ★ ● 医学研究科
- 看護学研究科
- ★ 1限 9:00~10:30
- 2限 10:40~12:10
- 3限 13:00~14:30
- 4限 14:40~16:10
- ★5限以降は「オンライン講義」中心
- ★ 授業のない時間
- オンデマンド講義
- (特定行為e-ラーニング等)
- 課題レポート作成
- プレゼンテーション準備

学修内容

<講義・演習>

医学研究科の授業

診療看護師特論

修士課程医学研究科共通科目

特定行為研修指定科目

看護学研究科の授業（単位互換）

高度看護実践に関する科目

周手術期看護領域の科目

<実習> 高度看護実践、包括的ケアの実践、臨床判断を含む特定行為実践



修了要件

2年以上の在籍

講義・演習43単位、実習16単位、計59単位以上修得
学位論文（課題研究）提出と審査・最終試験合格

	講義・演習	実習	計
必修	43	16	59
選択	18	0	18
計	61	16	77

特定行為研修（必修13区分）

呼吸器関連（気道確保）

創傷管理関連

呼吸器関連（人工呼吸療法）

動脈血液ガス分析関連

循環器関連

術後疼痛管理関連

胸腔ドレーン関連

循環動態に係る薬物投与関連

腹腔ドレーン管理関連

精神及び神経症状 薬物投与関連

栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル）

栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射）

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

特定行為研修（選択8区分）

呼吸器関連（長期呼吸療法）

創部ドレーン管理関連

心嚢ドレーン管理関連

透析管理関連

ろう孔管理関連

感染に係る薬物投与関連

血糖コントロールに係る薬物投与関連

皮膚損傷に係る薬物投与関連

学修環境

名古屋市立大学桜山(川澄)キャンパス

講義・演習 医学研究科講義室・会議室

看護学研究科講義室

臨床シミュレーションセンター

(方法) 対面・オンライン・オンデマンド

自己学修 大学院生室

総合情報センター(図書館)



実習施設

<診療看護師実習>

名市大病院 東部医療センター 西部医療センター
みどり市民病院 ・ みらい光生病院

<特定行為研修に係る実習>

上記の名市大附属病院群に加え、
受講生の希望や所属施設の状況を考慮し調整

入学金・授業料等

事項	金額(円)
入学金(市内在住)	232,000
入学金(その他)	332,000
授業料(年額)	535,800
入学検定料	30,344

入試について

応募資格

<次のいずれにも該当する方>

- ✓ 入学時において看護師として5年以上の実務経験を有する方
- ✓ 4年制大学を卒業又は卒業見込みの方
(短期大学又は専門学校卒業の方も資格審査により応募可能)
- ✓ 病院長等の推薦が得られる方
(推薦書の提出が困難な方は理由書の提出で代用可能)

資格審査

短期大学又は専門学校卒業の方は資格審査を実施

【提出書類】

- ✓ 個別資格審査願(所定様式)
- ✓ 履歴書(所定様式)
- ✓ 業績書(所定様式)
- ✓ 成績証明書及び卒業(見込)証明書

令和7年度入学 入試スケジュール

事項	日程	
資格審査申請期間	7月10日(水)~7月16日(火)	
出願期間	8月9日(金)~8月16日(金)	
試験日	9月4日 (水)	小論文 10時00分~
		面接 12時30分~

就学支援について

経済的支援

1. 授業料減免制度

【減免の対象となる学生】

- ①経済的理由により授業料の納付が困難な者
- ②学業優秀である者

※上記の①・②を満たす申請者を対象に審査を行います。

経済的支援

2. 奨学金・研究助成制度

* 日本学生支援機構奨学金
貸与月額・家計基準あり

* 名古屋市立大学なごや共創研究基金奨学金

本学大学院博士後期課程、医学研究科・薬学研究科博士課程
本学大学院医学研究科修士課程

年収の制限有（180万円を超える場合は対象外：要綱参照）

* その他の奨学金・研究助成等

その他

名市大病院群でのアルバイト

大学院修学中に就労意欲のある方は
学業に支障のない範囲で従事可能です

(アルバイト例)

- 市大病院 夜勤パート(12時間) 約33,000円/回
- 東部医療センター 夜勤パート(12時間) 約29,200円/回
- みどり市民病院 夜勤パート(15.5時間) 約38,500円/回

大学院修了後について

一定期間の研修プログラムでの修練期間を持つことを推奨

*名古屋市立大学病院での研修プログラム例

期間 2年間 診療科や部署をローテーション

診療科(部署)

麻酔科 循環器内科 救急科 消化器外科

中央手術部 ICU・CCU・PICU 救命救急センター等

*大学院修了後の卒後研修病院の確保が困難な方に対し、

名市大病院群の卒後研修プログラムを紹介他、ご相談に応じます。



R5年度プログラム修了式
(研修報告)

問い合わせ先

コース概要・カリキュラム等に関する照会先

医療人育成課 診療看護師コース担当（小黒・下村）

TEL 052-853-8545

E-mail med-daigakuin@sec.nagoya-cu.ac.jp

出願・入学等、奨学金・研究助成等に関する照会先

学生課入試係 医学研究科入試担当

TEL 052-853-8020